

地域ケア会議で捉える ～個別支援から地域支援へ～

平成31年2月8日(金)

桑名市北部西地域包括支援センター

担当エリア:筒尾・松ノ木・大山田・星見ヶ丘・野田

藤が丘・陽だまりの丘・新西方・多度



北部西圏域の人口構成と特徴

H30.3月末現在	筒尾	松ノ木	大山田	星見ヶ丘	野田	藤が丘	新西方	多度
地区人口	8,439	4,406	6,520	6,069	2,409	3,071	3,714	11,057
65歳以上人口	1,374	1,016	1,436	456	788	581	429	3,133
高齢化率(%)	16.2	23.1	22.0	7.5	32.7	18.9	11.6	28.3

H30.3月末現在	北部西圏域	桑名市
地区人口	45,685	142,791
65歳以上人口	9,213	36,553
高齢化率(%)	20.1	25.6

○地域として

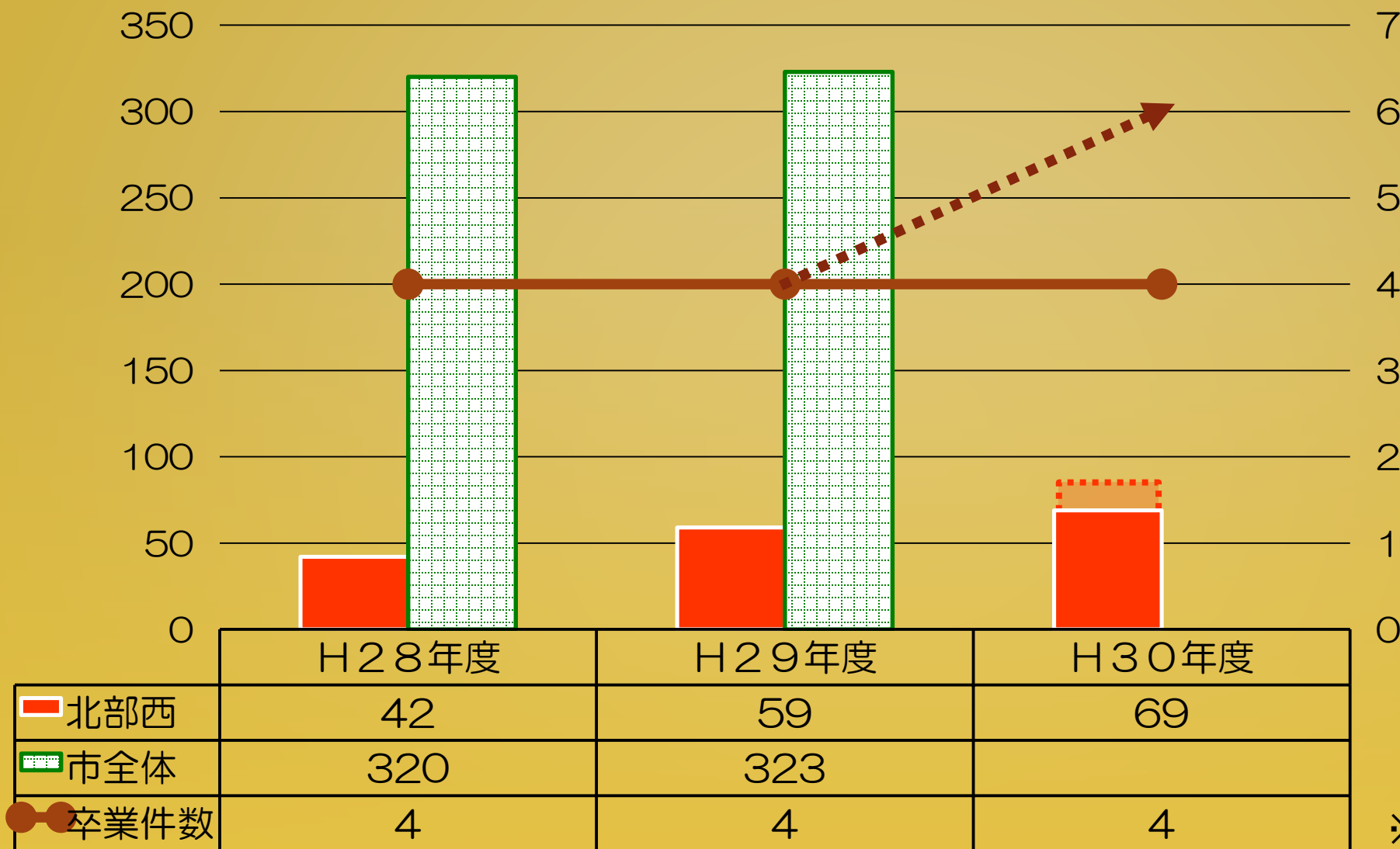
- ・ ニュータウンとオールドタウンが混在
- ・ 地区によって高齢化率が顕著

○傾向として

- ・ ご近所関係に地域特性（希薄化・複雑化）がある
- ・ 高齢分野に限らない複合的課題を抱える世帯
- ・ 高齢者夫婦またはその子どもと同居世帯と若い核家族世帯の両極化

圏域内に大きな団地と昔ながらの地域が存在し、多種多様な課題がある

応援会議開催数（北部西・市全体）と卒業件数



※H30年度は12月末の情報

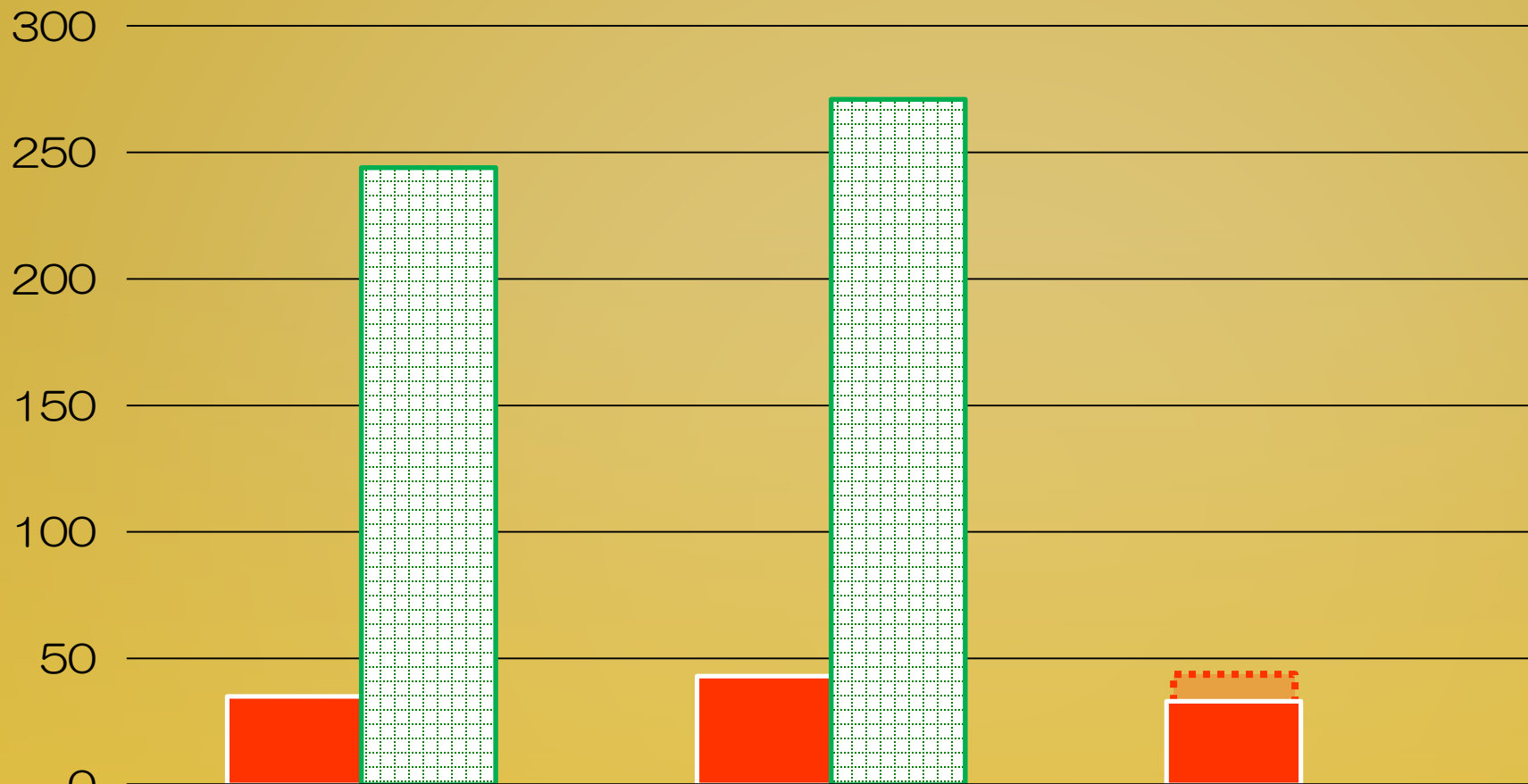
数的データでみる

地域生活応援会議



支援の必要な方が増加＝支援を必要としている方の早期把握・支援を実施

ケアミーティング開催数（北部西・市全体）



■ 北部西

35

43

33

■ 市全体

244

271

ケアミーティング

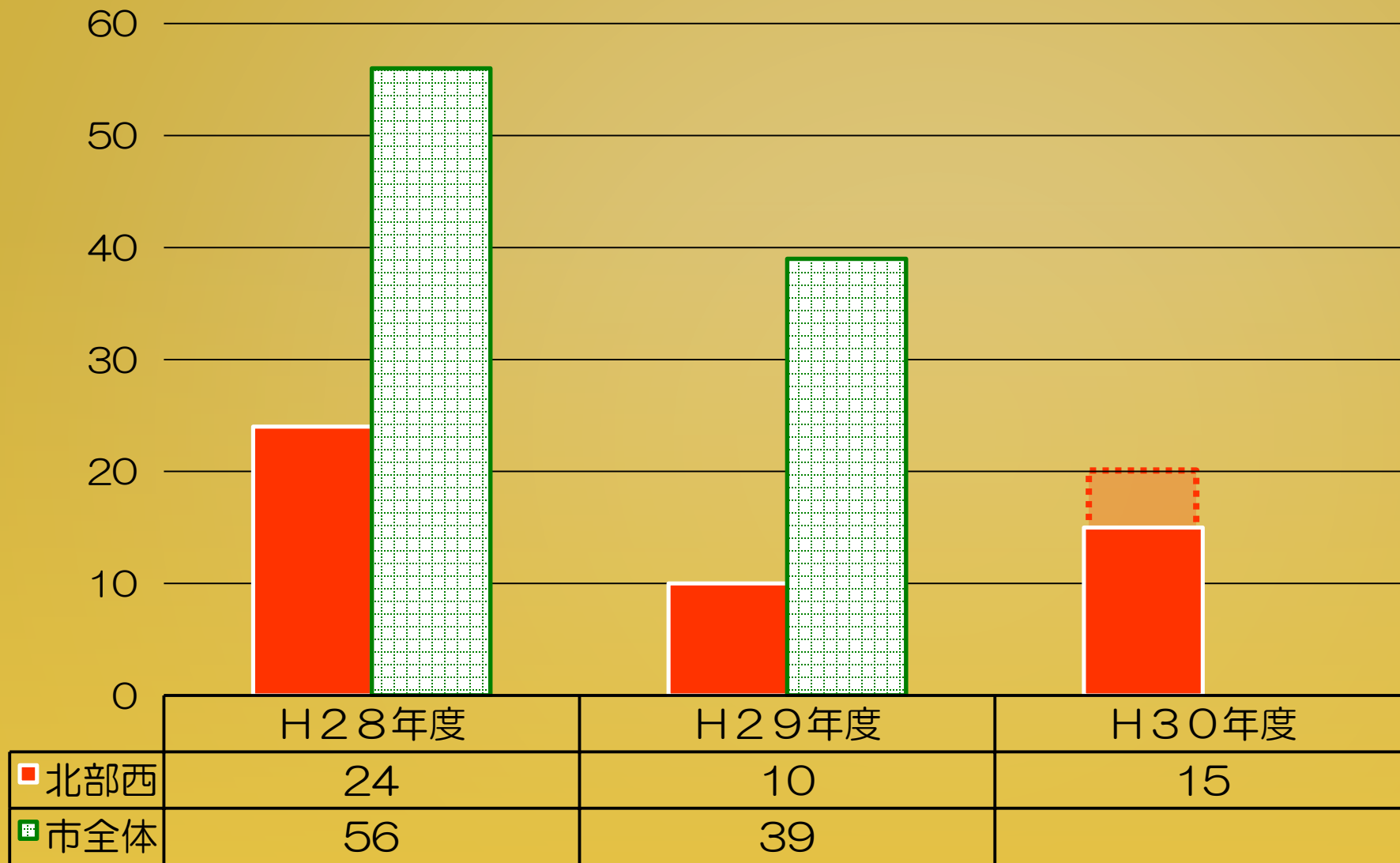
数的データでみる



※H30年度は12月末の情報

開催回数は、ほぼ横ばい＝引き続き早期支援が必要な方の把握に努める

調整会議開催数（北部西・市全体）



※H30年度は12月末の情報

数的データでみる



地域支援調整会議

開催数としては変動的＝事例に応じて調整会議の開催を検討

調整会議 平均出席者数と検討事例数（北部西）



●● 平均出席者数
●● 検討事例数

	H28年度	H29年度	H30年度
平均出席者数	7.7	6.7	7.2
検討事例数	7	9	14

地域支援調整会議

数的データでみる



※H30年度は12月末の情報

検討事例数が増加＝困難な事例に対して多職種の間わりが増加

地域ケア会議の有用性とは？

専門職等からの
助言・情報・データなどを
どのように活かすのか？

個別支援だけで終わらせない
地域で支える体制づくりを目指す

個別支援から地域支援へ



地域ケア会議を軸とした個別・地域支援の連続性



**地域
ケア会議**

ACTION (改善)
振り返りをもとに
更なる支援方法について
改善、検討を図る

支援を実施、多職種と
連携をしながら多角的な
アプローチを行う

DO (実行)

CHECK (評価)
支援の振り返りを行い
対象者の立場に立った
支援が行えているか確認

PLAN (計画)
個別・地域課題への対応方法を
地域ケア会議において多職種で検討
支援方針を固めて計画化

支援の振り返りを行い
地域住民の立場に立った
支援が行えているか確認

CHECK (評価)



DO (実行)
支援を実施、多職種と
連携をしながら多角的な
アプローチを行う

**地域
ケア会議**

振り返りをもとに
更なる支援方法について
改善、検討を図る

ACTION (改善)





ケース概要

- ・ 世帯主 要介護2 認知症
- ・ 妻 要支援1 うつ症状
- ・ 長女 独身 精神不安定
- ・ 長男 独身 精神障害

- ・ 世帯主のケアマネジャーから包括に相談あり
- ・ リフォーム業者に騙されている可能性がある
- ・ 地域訪問で面識があり、包括職員が自宅訪問
- ・ あきらかな手抜き工事を確認
- ・ すでに多額の金銭を支払ってしまった
- ・ 消費生活相談センターおよび警察に相談
- ・ 契約内容から金銭の返還請求や原状復帰は困難
- ・ 本人たちは現状が理解できていない
- ・ さらに別の業者が来訪して契約を迫ってきている

世帯全体の支援が必要と判断し、包括が伴走してチームで支援を行う

地域ケア会議前後における各関係機関の関わり

	相談	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	今後
地域包括支援センター		地域ケア会議						
介護保険事業所								
高齢者関係部署								
障害サービス事業所								
消費生活相談センター								
自治会								
民生委員								

地域生活継続のための支援

地域ケア会議を契機に専門職＋地域住民に支援、見守り協力を依頼

地域ケア会議にて検討、対応した結果

支援前

- 世帯主のケアマネジャーから包括に相談あり
- リフォーム業者に騙されている可能性がある
- 地域訪問で面識があり、包括職員が自宅訪問
- あきらかな手抜き工事を確認
- すでに多額の金銭を支払ってしまっていた
- 消費生活相談センターおよび警察に相談
- 契約内容から金銭の返還請求や原状復帰は困難
- 本人たちは現状が理解できていない
- さらに別の業者が来訪して契約を迫ってきている

地域 ケア 会議

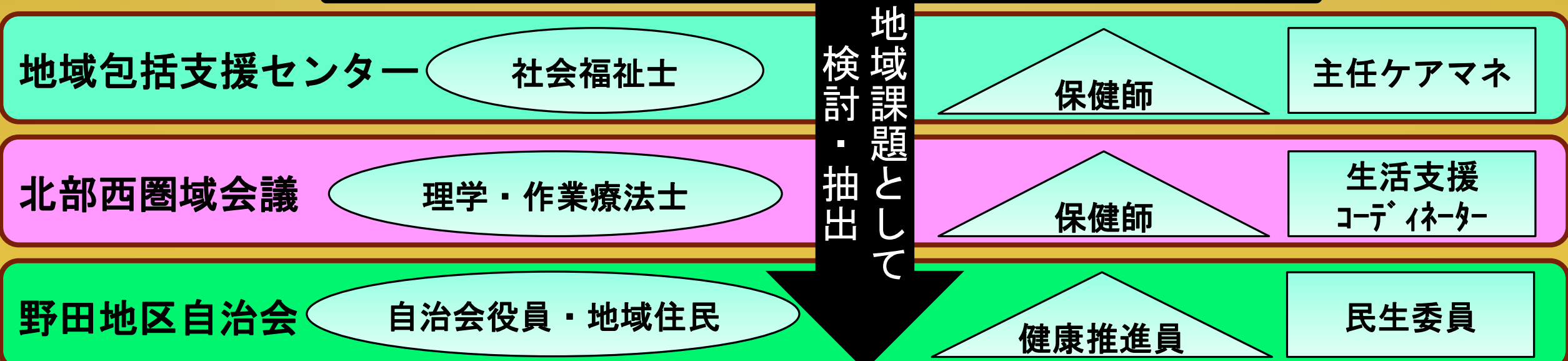
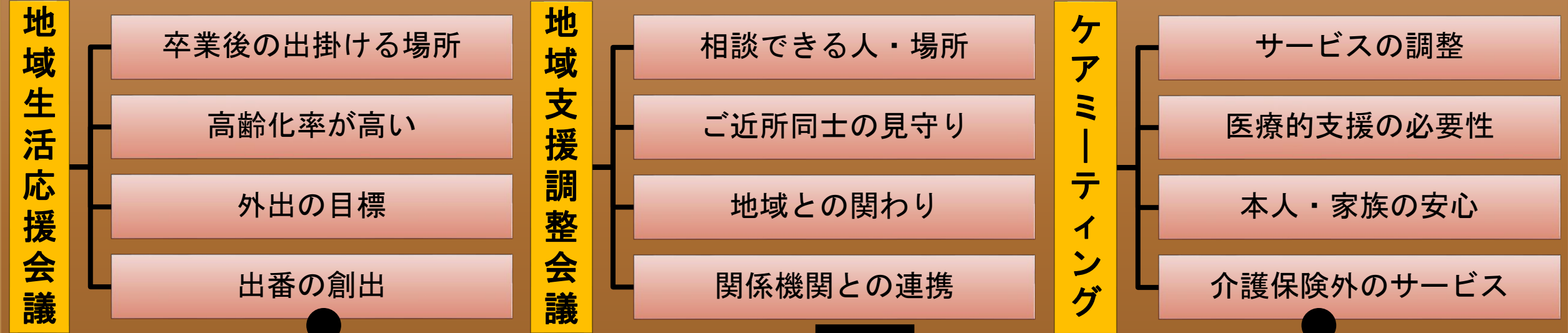
支援後

- 各専門機関、専門職と連携して情報共有
- 元の生活に戻れるよう原状復帰の手続き
- 企業の社会貢献による工事の提供
- 地域での見守り開始
- 安心して相談できる窓口（包括）の認識
- 各種制度の紹介
- 自治会を通じて地域全体への周知、啓発
- ケアマネジャーを通じて高齢者への周知、啓発

安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができる

野田地区における課題抽出のながれ

地域ケア会議における個別ケースの検討内容を地区別に蓄積



野田地区における課題抽出後の取り組みと成果

地域課題として抽出⇒地域のつながりが薄い、地域資源が少ない等



- ご近所での見守り依頼
- 各専門機関、専門職等との協働
- 企業との情報共有、協力依頼（見守り、異常発見時の通報等）
- 地域内の関係者と協議（民生委員、健康推進員、地域内団体等）
- 自治会を中心とした地域間ネットワークの再構築
- 認知症声掛け訓練、認知症サポーターの実施検討

地域づくり

- 通いの場の創出（笑和の会、いきいき体操会等）
- 新聞店作成の広報を媒体とした地域情報の発信
- 地域パトロール隊の創設検討

地域資源
の開発

地域ケア会議を 経ることでの支援の変化

包括+ α の支援

地域
ケア会議

地域での見守り

安心できる
地域生活
の継続

関係機関との
連携

専門職それぞれの
立場からの
アプローチ

支援の
しづらさ

孤立

福祉だけではなく
地域や企業なども
関わりをもつ

支援の幅が
広がる

包括+ α + α + α + ∞
の支援

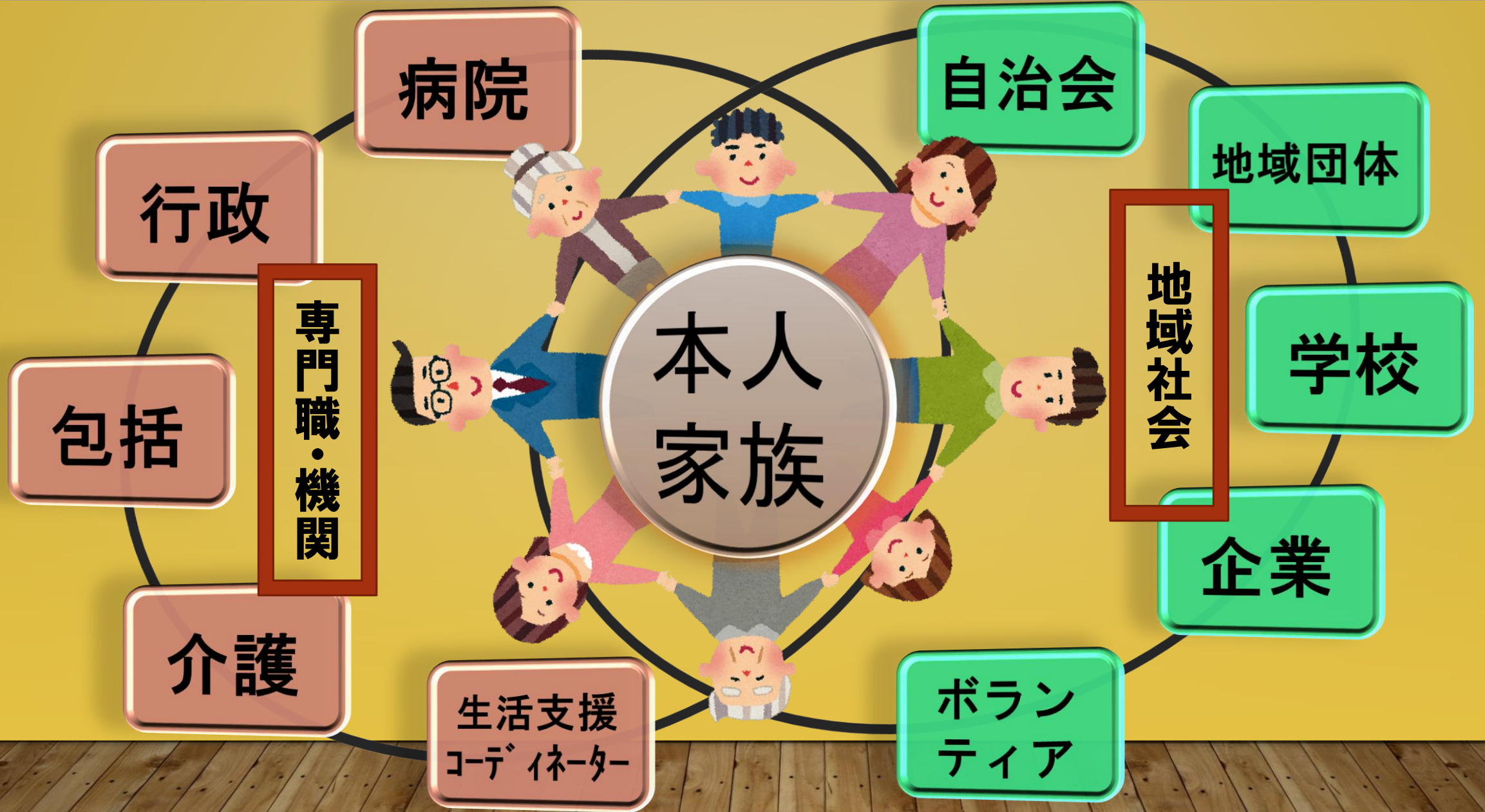
問題意識
が低い

本人・
家族等
との関わり

支援の
拒否

幾重もの
セーフティネット
で漏らさない

住み慣れた家で暮らし続けられる地域（地域包括ケアシステム）



地域ケア会議の本質とは？

地域包括
支援センター × 地域
ケア会議

地域包括ケアシステムの推進

個人を地域で支えるための統合的な協働体
⇒誰もが安心して暮らせる社会（**地域共生社会**）

感謝

ご清聴ありがとうございました

これからも皆さんと一緒に安心して住み続けることができる
桑名市、地域をつくるために、ご協力をお願いします！！

